

【 膠 原 病 】

膠原病とは、全身の血管や皮膚、筋肉、関節などに炎症が見られる病気の総称で、原因不明の発熱や湿疹、関節の痛みなどの症状がみられます。膠原病に含まれる疾患には、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、シェーグレン症候群、血管炎症候群などがあります。

シクロフォスファミド(商品名：エンドキサン)はアルキル化薬と呼ばれ、DNAと結合してDNA合成を阻害し、リンパ球の細胞死をひき起して、免疫抑制作用を発揮します。エンドキサンは高い効果があり、膠原病でも最も広く使用されます。50～100mg(1～2錠)を1日1回内服、または間歇静注投与(500～1000mgを1ヶ月に1回点滴静注)で用いますが、近年は間歇静注療法が主流です。この投与法は重症全身性エリテマトーデスの治療法として確立しており、血管炎症候群、膠原病の間質性肺炎などに効果が認められています。シクロフォスファミド(商品名：エンドキサン)はアルキル化薬と呼ばれ、DNAと結合してDNA合成を阻害し、リンパ球の細胞死をひき起して、免疫抑制作用を発揮します。エンドキサンは高い効果があり、膠原病でも最も広く使用されます。50～100mg(1～2錠)を1日1回内服、または間歇静注投与(500～1000mgを1ヶ月に2回点滴静注)で用いますが、近年は間歇静注療法が主流です。この投与法は重症全身性エリテマトーデスの治療法として確立しており、血管炎症候群、膠原病の間質性肺炎などに効果が認められています。

注意しなければならない副作用は、嘔気・嘔吐、骨髄障害(血球減少)、出血性膀胱炎、性腺機能異常などがあります。副作用のモニタリングと安全に投与を行うため2泊3日の入院にて治療を行います。





エンドキサンパルスを受ける患者さんへ

患者さん用

お名前:

主治医:

担当看護師:

項目	月日		
	入院当日	入院2日目	3日目 退院
達成目標	治療を受けることについての心の準備が出来る	<ul style="list-style-type: none"> 発熱(38.0℃)以上が見られない 食事が摂取できる 全身倦怠感が見られない 	お小水に血が混じらない
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	検温をします。時間の目安は10時頃、もしくは14時頃となります 	エンドキサンパルス療法の開始となります 点滴が終わったら、治療は終了です 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血、採尿 身長、体重測定 		採尿
活動・安静度	食事に制限はありませんが、疾患によって異なります		
食事	病院内を自由に歩行出来ます(歩行状況により看護師が付き添います)		
清潔	入浴について説明します	点滴中は、看護師がお手伝いします	
排泄	治療中も特に制限はなく、トイレに行くことができます		
患者さん及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	看護師が入院のオリエンテーションを行います 		退院後の注意事項について説明します

ご質問やご不明な点がございましたら、医師または看護師にお伝えください。
予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。
東邦大学医療センター大森病院
作成日：平成28年11月